

科目	リモートセンシング (Remote Sensing)		
担当教員	中尾 幸一		
対象学年等	都市工学科・5年・後期・選択・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A4-2(100%)	JABEE基準1(1) (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	人工衛星画像によるリモートセンシングの概要を解説し、その利用法を理解させる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-2】地球観測衛星の現状を説明できる。		地球観測衛星の現状の理解度は中間試験で評価する。
2	【A4-2】人工衛星画像データの活用法を説明できる。		人工衛星画像データの活用法については、演習レポート、中間試験・定期試験で評価する。
3	【A4-2】人工衛星画像を使って地表の状態を分析できる。		人工衛星画像を使った地表の状態の分析は、演習レポート、定期試験で評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	試験成績70%、レポートおよび授業中の演習30%の割合で総合的に評価する。		
テキスト	プリントを使用する		
参考書	「リモートセンシングデータ解析の基礎」 長谷川均 古今書院 「図解リモートセンシング」 日本リモートセンシング研究会編 日本測量協会		
関連科目			
履修上の注意事項	都市情報工学で学んだ地理情報システムと衛星画像データをリンクさせることが実践的なリモートセンシングの活用につながる。中間試験、定期試験を実施する。		

